

令和2年度  
自己評価 報告書

評価期間 自:令和2年4月 1日  
至:令和3年3月31日

令和3年 6月28日

専門学校 日本デザイナー学院

本報告書は平成25年3月に文部科学省生涯学習政策局の作成『専修学校における学校評価ガイドライン』及び、特定非営利活動法人私立専門学校評価研究機構の作成『第三者評価システムの概要Ver 4.0』に準拠し実施した。

#### 自己評価委員会

委員長	野口 朝夫 (校長)
委員	ダン ヨシコ (主任)
委員	鈴木 真紀夫 (主任)
委員	上原 則博 (主任)
委員	池谷 光江 (主任)
委員	菅沼 比呂志 (主任)
事務局	長坂 大輔 (事務局長)
	銭谷 裕子 (教務課長)
	富田 隆徳 (総務課)

## 目次

1. 学校の教育目標 .....	P3
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画 ...	P3
3. 点検項目の評価結果 .....	P3～9
(1)教育理念 .....	P3
(2)学校運営 .....	P4
(3)教育活動 .....	P4・5
(4)教育成果 .....	P5
(5)学生支援 .....	P6
(6)施設整備 .....	P6
(7)学生募集 .....	P7
(8)財務 .....	P7
(9)法令順守 .....	P8
(10)社会貢献 .....	P8
(11)国際交流 .....	P9
4. 自己評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果 .....	P10
(1)教育目標 .....	P10
(2)財務評価 .....	P10
(3)一般的評価 .....	P10

## 1. 学校の教育目的

専門学校日本デザイナー学院は、高度に進歩する産業社会において生活と文化に携わる有能なクリエイターを養成することを目的とし、その職能上必要とされる技能を履修させ教養を積み、同時に人間形成に努め、社会人としての自覚と責任をもつ人材の育成を使命とする。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 社会貢献の意識を高め、コミュニケーション能力を養うことを目的とした学生活動に対する支援を行う。
- 2) クリエイティブ業界と学生のニーズを反映し、バランスのとれたカリキュラム編成を行う。

## 3. 自己点検・評価項目の結果

### (1) 教育理念に関すること

評価項目		適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
1-1)	教育理念・教育目標は示されているか	④	3	2	1
1-2)	学校の特色は示されているか	④	3	2	1
1-3)	学校の将来構想は示されているか	④	3	2	1
1-4)	学校の理念・目的・特色などが学生・保護者に周知されているか	④	3	2	1
1-5)	各科の教育目標、人材育成像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

### ①課題

[ 適切に行われていると判断している。 ]

### ②今後の改善方策

[ 引き続き業界の動向や社会情勢等の情報収集を行い、最新の情報に基づいた検討結果を踏まえながら、教育理念を指針とした授業運営を行っていく。 ]

### ③特記事項

[ ]

## (2) 学校運営に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
2-1)	運営方針は定められているか	④	3	2	1
2-2)	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
2-3)	運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	④	3	2	1
2-4)	人事や給与での処遇に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
2-5)	意思決定システムは確立されているか	④	3	2	1
2-6)	業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
2-7)	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
2-8)	情報システム等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

### ①課題

適切に行われていると判断している。

### ②今後の改善方策

現状どおり継続していく。

### ③特記事項

特記事項なし

## (3) 教育活動に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
3-1)	教育理念等に沿った教育課程も編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
3-2)	カリキュラムは業界の人材ニーズに対応しているか	④	3	2	1
3-3)	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
3-4)	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
3-5)	定期的カリキュラムの見直しはなされているか	④	3	2	1
3-6)	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
3-7)	成績評価の基準は明確になっているか	④	3	2	1
3-8)	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
3-9)	授業評価は実施されているか	④	3	2	1
3-10)	資格取得等に関する指導体制やカリキュラムはできているか	④	3	2	1
3-11)	人材育成目標の達成に向けて授業を行う講師を確保しているか	④	3	2	1
3-12)	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
3-13)	関連分野における先端的な知識・技能等を取得するための研修や教員の指導力育成や向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
3-14)	職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

- ①課題  
 [ 適切に行われていると判断している。 ]
- ②今後の改善方策  
 [ 専門性の高い職能教育だけでなく、プレゼンやコミュニケーションスキルの向上を目的とした科目の設定を検討していく。 ]
- ③特記事項  
 [ 株式会社スクーとの提携により、専門領域外においても様々な分野の学びが提供可能となった。 ]

#### (4) 教育成果に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
4-1)	就職率を向上させるための施策は図られているか	④	3	2	1
4-2)	資格取得を向上させるための施策は図られているか	4	③	2	1
4-3)	退学者を減らすための施策は図られているか	④	3	2	1
4-4)	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
4-5)	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

- ①課題  
 [ 資格取得を向上させるための施策が、現在は不十分である。 ]
- ②今後の改善方策  
 [ 今後は通常授業や夏期集中等の特別授業を通して、資格取得に向けた対策講座を実施し、取得率向上を目指していく。 ]
- ③特記事項  
 [ ]

## (5) 学生支援に関すること

評価項目		適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
5-1)	就職に関する支援体制は整っているか	④	3	2	1
5-2)	学生相談などの支援体制はどうか	④	3	2	1
5-3)	学生への奨学金等の経済的支援はどうか	④	3	2	1
5-4)	学生の健康管理はどうか	④	3	2	1
5-5)	課外活動に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
5-6)	学生寮等の支援体制は整備されているか	4	③	2	1
5-7)	保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
5-8)	卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
5-9)	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
5-10)	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

### ①課題

[ 新型コロナウイルスの影響により、東京での生活に不安を抱える学生に対しての支援が必要。 ]

### ②今後の改善方策

[ 提携業者等との情報共有を定期的に行うなど連携を強化することで、柔軟な学生サポートを行うことができる体制を構築していく。 ]

### ③特記事項

[ 1:出席や成績等、学生生活の状況を保護者に定期的に報告している。  
2:高等学校部活動支援の実施等を行っている。 ]

## (6) 施設設備に関すること

評価項目		適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
6-1)	施設・設備はカリキュラムに対応出来ているか	④	3	2	1
6-2)	学内外の実習設備、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
6-3)	防災体制は整っているか	④	3	2	1

### ①課題

[ 適切に行われていると判断している。 ]

### ②今後の改善方策

[ 改築した施設や設備に関する最新の情報を常に共有し、状態の維持・発展に努める。 ]

### ③特記事項

[ すべてのフロア、教室、駐車場の改築が終了。 ]

(7) 学生募集と受け入れに関すること

評価項目		適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
7-1)	学生募集活動は適正か	④	3	2	1
7-2)	学生募集に教育成果は反映されているか	④	3	2	1
7-3)	入学選考の時期・基準・方法は適正か	④	3	2	1
7-4)	納付金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

①課題

[ 適切に行われていると判断している。 ]

②今後の改善方策

[ 現状どおり継続していく。 ]

③特記事項

[ ]

(8) 財務に関すること

評価項目		適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
8-1)	中長期的に財務基盤はどうか	④	3	2	1
8-2)	予算・収支計画は有効かつ妥当か	④	3	2	1
8-3)	会計監査は適正に行われているか	④	3	2	1
8-4)	財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

①課題

[ 適正に行われていると判断している。 ]

②今後の改善方策

[ 現状どおり継続していく。 ]

③特記事項

[ 定期的な内部監査も実施しており、財務情報も HP 上に公開済み。 ]

(9) 法令順守に関すること

評価項目		適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
9-1)	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
9-2)	個人情報に関して、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
9-3)	自己評価の実施と問題点について改善に努めているか	④	3	2	1
9-4)	自己評価結果を公表しているか	④	3	2	1

①課題

[ 適正に行われていると判断している。 ]

②今後の改善方策

[ 現状どおり継続していく。 ]

③特記事項

[ 自己評価報告書、学校評価報告書を HP 上に公開済み。 ]

(10) 社会貢献に関すること

評価項目		適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
10-1)	教育資源や設備を活用しての社会貢献はなされているか	④	3	2	1
10-2)	学生のボランティア活動に対する支援はどうか	4	③	2	1
10-3)	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

①課題

[ ボランティア活動の支援。 ]

②今後の改善方策

[ クリエイティブな視点でのボランティア活動が経験できる機会を提供できるよう努める。 ]

③特記事項

[ 今年度も近隣の中学校(鉢山中学校)からの職業体験実習の受け入れを行い、3日間にわたり実習と教育訓練の機会を提供している。 ]

(11) 国際交流に関すること

評価項目		適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
11-1)	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	④	3	2	1
11-2)	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④	3	2	1
11-3)	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	④	3	2	1
11-4)	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	④	3	2	1

①課題

[ 適正に行われていると判断している。 ]

②今後の改善方策

[ 新型コロナウイルスの影響により入国できない留学生に対し、オンラインシステムを活用した授業を提供しながらも、入国へ向けたサポートも引き続き行う。 ]

③特記事項

[ マレーシアに設置予定の姉妹校を基軸として、本校の国際化を促進させていきたい。 ]

## 4. 自己評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

### (1) 教育評価

教育評価は概ね適切という判断であるが、いくつかの点において課題や改善の余地がある。超実践教育という教育理念に関しては概ね実現されてきたが、今後については、社会情勢が大きく変化している現在の状況を踏まえた対応が必須である。

学生対応については、個別相談の更なる充実、保護者や卒業生との連携など、これまで以上に改善できる部分がある。留学生については、新型コロナウイルスの影響により入国できない留学生に対し、オンラインシステムを活用した授業を提供しながらも、入国へ向けたサポートも引き続き行い、日本での就業に向けた支援も行っていく。また、株式会社スクーとの提携により、デザイン・イラスト以外の様々な分野についてもオンラインを通じて学ぶことが可能となり、より社会に適応するための教育機会を提供できるようになった。

### (2) 財務評価

令和2年度の入学者数は前年度よりも増加した。適正な予算・収支計画に基づき、安定的な学校運営が行われていると判断している。

### (3) 一般的評価

専門学校日本デザイナー学院は、クリエイティブ教育の専門学校として創立57年目を迎え、創立以来多くの卒業生達をグラフィック・マンガ・イラストなどの産業界と生活文化に携わる有能なクリエイターとして輩出している。

社会人としての自覚と責任を持たせる指導を行いながら、クリエイティブ業界のニーズに対応するために毎年カリキュラムの改良にも努めている。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、外部企業や地方自治体と協力した産学協同、病院での作品展示等のボランティア活動等は行えなかったが、状況をみながら再度協力を依頼していきたいと考えている。

また、3年にわたり行ってきた校舎改修工事が完了し、教育環境の整備、設備の充実をはかることができた。これにより、より実践的な授業を受けられることで学生の学習意欲がより高まり、さらには入学希望者・保護者からも好評を得ている。